

## 「げんきの森」ワークショップ（網走西部地域）

具体的内容	<p><b>【概要】</b> 道では、森林や木材などとのふれあいを介して、子どもたちが森林体験活動に取り組める環境づくりを進めるため「げんきの森」を設置し、子どもたちの生きる力を育てる「げんきの森」での取組などを実施しています。</p> <p>活動を進めるためのメンバーは、地域の森林ボランティア・学校の先生・森遊びの達人・市町村・森林管理署・森づくりセンター等で構成し、委員はボランティアで活動を行っています。</p> <p><b>【実績】</b> H17：管内2カ所（湧別町、滝上町）で合計4回開催 H18：管内4カ所（湧別町、滝上町、興部町、西興部村）で合計10回開催予定</p> <p><b>【取り組み始めたきっかけ・活動を始めるまでの足跡】</b> 北海道（森林活用課）の事業で、H17～21年の5カ年で全道市町村での設置・開催を進めています。</p> <p>各市町村で検討委員会を設置して、げんきの森の設定場所を決め、また、ワークショップ等の内容などを検討しながら活動を継続しています。</p> <p><b>【活動・取組の特徴】</b> 自然の素材（枝・マツボックリ）や木材等を利用した木工教室・ネイチャーゲーム・カブト虫採取・冬にカンジキを履いて「げんきの森」での森林観察等を行っています。特に森の生き物を題材にしたネイチャーゲームでは生態を学びながら体を動かしたり、冬の森林観察では慣れないカンジキを履いて冬の森や動物の足跡を観察するなど、普段体験することが出来ない森遊びや新しい発見に目を輝かせています。</p> <p>また、北海道（林業木材課）の事業でもりのゆりかご体感事業「ゆりかご創造」での記念植樹も行っています。</p>		
	期待できる効果（自己評価）	<p>五感や創造性を高める</p> <p>協調性や社会性を育む</p> <p>運動能力の発達を促す</p> <p>生命と自分とのつながりに気づく</p> <p>その他（ ）</p>	<p>森や木に関する知識をつける・高める</p> <p>森や木を通じた地域の活性化を図る</p> <p>木の文化や技術を伝える・つくる</p> <p>つくり手・買い手・使い手をつなぐ</p> <p>その他（ ）</p>
取組主体	企画者または主催者名	げんきの森活動委員会（各市町村）	
	参加者（参集範囲）	<p>乳幼児 / 未就学児童 / <input type="checkbox"/>小・中学生</p> <p>大人（高校生以上） / 高齢者 / その他（ ）</p>	
参加者の募集	<p><input type="checkbox"/>あ <input type="checkbox"/>る / な し</p> <p>「げんきの森」設置済み市町村の小学校へのチラシ配布など</p>		
HPアドレス・連絡先（担当者）	<p>網走西部森づくりセンター管理課 TEL：0158-82-2158 FAX：0158-82-2160</p>		

## 「げんきの森」ワークショップ



湧別町  
平成17年度  
記念植樹、木工教室、ネイチャーゲーム  
自分たちで制作した看板の前で記念写真



湧別町  
平成17年度  
冬の森を観察  
カンジキを履いて野鳥や動物の足跡、  
樹木を観察注意事項及び現況説明



興部町  
平成18年度  
ネイチャーゲーム、カブト虫採集  
カブト虫を堆肥の中から採集



滝上町  
平成18年度  
記念植樹、木工教室  
木工教室（伸びる紙を使った立体アート）

## コーザン・ながぐつレンジャー

具体的内容	<p><b>【概要】</b> 登別市ネイチャーセンターふおれすと鉱山は、平成17年度から子どもの居場所づくり事業として「コーザン・ながぐつレンジャー」を開催しています。子どもたちは鉱山の自然の中で、ふおれすと鉱山のスタッフと一緒に様々な仕事（調査活動・野外作業）に挑戦しています。この「お仕事体験」を通して、子どもたちに自然や人のために働く喜びや楽しさを伝えていくとともに、自信を持たせるきっかけづくりをすすめています。</p> <p><b>【実績】</b> 平成17年度 6月から3月まで 10回開催 平成18年度 4月より3月まで 24回開催（ながぐつレンジャー、）</p> <p><b>【取り組み始めたきっかけ・活動を始めるまでの足跡】</b> ふおれすと鉱山がオープンして以来、多くの子どもたちに自然体験プログラムを提供し、鉱山町の自然環境の魅力を伝えてきました。その結果、多くの子どもたちが鉱山町に興味や関心を抱くようになってきました。また、今の子どもたちを取り巻く社会の諸問題に目をやると、地域の中における子どもたちの居場所がないという現象がクローズアップされています。そこで、ふおれすと鉱山の中で、子どもが一人の人間として認められ、また人のために役に立ちたいという思いを抱けるような場と機会を提供するような現代社会にあった子どもの居場所を作ることこそ、子どもの参画を促すことにつながると考え、「コーザン・ながぐつレンジャー」を企画しました。</p> <p><b>【活動・取組の特徴】</b> ふおれすと鉱山は、行政（登別市）・地元NPO（NPO法人モモンガくらぶ）・専門NPO（NPO法人ねおす）が、一緒に話し合い、運営を協働で行っています。この「コーザン・ながぐつレンジャー」事業も、企画から運営まで協働で行っています。また、地域の大人たちがいわゆる仕事場の「親方」となって、一緒に汗を流しています。子どもたちに仕事のやりがいを伝え、時には子どもたちを叱り、励まし、最後には「助かったよ」と感謝の意を伝えます。このように、地域ぐるみで子どもの居場所づくりを行っています。「親方」たちも、「ながぐつレンジャー」には思い入れが強くなってきています。</p> <p>参加している小学生の中には、昨年、ふおれすと鉱山主催事業「もりのようちえん」に参加していた小学1年生たちもいます。「もりのようちえん」に参加している兄弟たちやお父さん、お母さんに「わたしたちは、お仕事しているんだから！」と自慢げに話す光景や「遊ぶのは、お仕事が終わってから。」と仕事に取り組む真剣な眼差しには驚かされます。</p> <p>さらには、昨年の「ながぐつレンジャー」卒業生が、調査の手伝いやお仕事の手伝いに来てくれることも増え、子どもの居場所が広がってきています。</p>		
	期待できる効果 (自己評価)	五感や創造性を高める	森や木に関する知識をつける・高める
	協調性や社会性を育む	森や木を通じた地域の活性化を図る	
	運動能力の発達を促す	木の文化や技術を伝える・つくる	
	生命と自分とのつながりに気づく	つくり手・買い手・使い手をつなぐ	
	その他( )	その他( )	
取組主体	企画者または主催者名	登別市ネイチャーセンター ふおれすと鉱山	
	参加者(参集範囲)	乳幼児 / 未就学児童 / <u>小・中学生</u> 大人(高校生以上) / 高齢者 / その他( )	
参加者の募集	<u>あ</u> る / なし 市内の小学1年生～6年生、20名、年度はじまりに募集		
HPアドレス・連絡先(担当者)	登別市ネイチャーセンター ふおれすと鉱山 Tel: 0143-85-2569 Fax: 0143-81-5808 E-Mail: kouzan@pluto.plala.or.jp URL: http://www.noboribetsu.ed.jp/ncenter/		



コーザン・ながぐつレンジャー



## 里山づくりボランティア チカタビレンジャー

### 【概要】

登別市ネイチャーセンターふおれすと鉱山は、里山づくりに関するボランティア育成として「チカタビレンジャー」を開催しています。「チカタビレンジャー」は、幼児連れの親子や中年の大人で構成され、人の生活に密着した森づくり「里山づくり」を行っています。里山を手入れして、森と人の生活が結びつくような活動へと広がりを目指しています。

### 【実績】

H17：10月より3回開催

H18：4月より、月1回ペースで開催

### 【取り組み始めたきっかけ・活動を始めるまでの足跡】

「ふおれすと鉱山」は、人と自然のふれあいを通じて市民の自然に対する意識の高揚を図るとともに、自然環境学習や野外体験学習等を推進し子どもたちの豊かな心や生きる力を育むため設置されました。H14年4月に開所以来、市民のみならず近隣市町の自然体験活動の場やレクリエーションの場として、自然愛好者や団体グループのほか、幼児から高齢者までさまざまな来訪者があり、鉱山町の森林の中で楽しむ姿がみられます。加えて、「ふおれすと鉱山」におけるさまざまな事業の積極的な展開により鉱山地区の森林や自然環境を題材に児童や生徒が環境学習を行う機会も増えています。

H15年には「もっと身近な自然にふれあいたい」「森に関わりたい」という市民からの熱い要望に応え、登別市がふおれすと鉱山に隣接する森林7ha（以下、「ふおれすと鉱山の森」）を購入しました。この森林は保安林に指定されており、購入と同時に、北海道の治山事業である「共生保安林整備統合補助事業」が動き出しました。これに関連して、市民組織である「森づくり懇話会」が立ち上がり、その意見をもとに、同事業がH17年度から始まりました。その後、森林の整備や保全には長期的な視点が必要であるとの考えから、人々の営みを映す歴史的景観を踏まえ、100年の時間を意識した変わることのない、次代に引き継ぐための構想として、「ふおれすと鉱山流里山づくり構想」を策定しました。

「チカタビレンジャー」は、H17年度に策定された「ふおれすと鉱山流里山づくり構想」に基づき、アクションプランを展開しています。また、市民が里山づくりに積極的に関わる機会を提供し、参画の機運を高めています。

### 【活動・取組の特徴】

今年の「チカタビレンジャー」では、森林に関する専門家から、里山づくりに関するノウハウを学び、里山づくりボランティア育成を行いました。例えば、山仕事に欠かせない道具の安全な使い方や手入れの仕方、苗木を移植する時期と移植の仕方、樹木の見分け方などを学びました。その後、ササ刈りなどの里山づくり活動を支援してくれる市民ボランティアが増え、市民の活動の幅が広がってきています。

### 具体的内容

期待できる効果 (自己評価)	五感や創造性を高める		森や木に関する知識をつける・高める	
	協調性や社会性を育む		森や木を通じた地域の活性化を図る	
	運動能力の発達を促す		木の文化や技術を伝える・つくる	
	生命と自分とのつながりに気づく		つくり手・買い手・使い手をつなぐ	
	その他( )		その他( )	
取組主体	企画者または主催者名	登別市ネイチャーセンター ふおれすと鉱山		
	参加者(参集範囲)	乳幼児 / <input type="checkbox"/> 未就学児童 / <input type="checkbox"/> 小・中学生 <input type="checkbox"/> 大人(高校生以上) / <input type="checkbox"/> 高齢者 / その他( )		
参加者の募集	<input type="checkbox"/> あ <input type="checkbox"/> る / なし 市内の小学1年生～6年生、定員20名、年度はじまりに募集			
HPアドレス・連絡先(担当者)	登別市ネイチャーセンター ふおれすと鉱山 Tel : 0143-85-2569 Fax : 0143-81-5808 E-Mail : kouzan@pluto.plala.or.jp URL : http://www.noboribetsu.ed.jp/ncenter/			



里山づくりボランティア ジカタビレンジャー



## 里山の森づくり自然体験

具体的内容	<p><b>【概要】</b>          NPO法人ウヨロ環境トラストは、白老町の里地・里山の田園景観が残されているウヨロ川流域で、その景観と自然環境を保全するため、「ナショナルトラスト活動」「環境ボランティア活動」「森づくり活動」「環境学習活動」を実践しています。</p> <p>里山の森づくり自然体験は、トラストの森をフィールドに森林ならではの体験プログラムとして、“人工林の間伐体験”“ツリーイング”“森の探索”“森の調査”“焚き火体験”“巣箱づくり”と多様な催しを実施しました。</p>			
	<p><b>【実績】</b>          ほかに年間を通して“夏のエコキャンプ”“秋のエコキャンプ”“冬のデイキャンプ”など多様な青少年自然体験活動を実施しております。</p>			
	<p><b>【取り組み始めたきっかけ・活動を始めるまでの足跡】</b>          2001年に有志が資金を拠出し取得した「トラストの森」で森の手入れ作業がボランティア活動として始められ、2004年10月にはNPO法人となり、青少年の自然体験活動にも取り組むようになりました。</p>			
	<p><b>【活動・取組の特徴】</b>          虫取り網を持って森を歩き、手ノコで枝を切り、カナヅチを使って巣箱を作る、焚き火でちょっと火遊びなど、普段は危ないからとできないことを専門家の指導のもと安全に楽しめるものとなっています。また、ツリーイングは全員が初体験で、ロープで木登りすることや木の上から眺める景色に大はしゃぎでした。</p> <p>このような森林空間での体験は、ただ楽しいだけでなく、人と森（自然）との結びつきや関わりを身を持って感じるこのことのできる機会となっています。</p>			
期待できる効果 (自己評価)	五感や創造性を高める		森や木に関する知識をつける・高める	
	協調性や社会性を育む		森や木を通じた地域の活性化を図る	
	運動能力の発達を促す		木の文化や技術を伝える・つくる	
	生命と自分とのつながりに気づく		つくり手・買い手・使い手をつなぐ	
	その他( )		その他( )	
取組主体	企画者または主催者名	NPO 法人ウヨロ環境トラスト		
	参加者(参集範囲)	乳幼児 / 未就学児童 / <input type="text" value="小・中学生"/> 大人(高校生以上) / 高齢者 / <input type="text" value="その他(参加者の親)"/>		
参加者の募集		<input type="text" value="あ る"/> / な し その都度、募集しております。		
HPアドレス・連絡先(担当者)		NPO 法人ウヨロ環境トラスト 専務理事 河野 功 TEL 0144-85-2852 FAX 0144-85-2856 E-mail trust@shiraoi.org URL http://www.shiraoi.org		

## 子ども樹木博士

### 【概要】

当センターでは、平成17年度から夏休み期間中に様似町のアポイ樹木園を利用して樹木の名前を学習する「子ども樹木博士」認定テストを実施し、センター長から段位の認定証を授与しています。「樹木博士」は小学校3年生から6年生を対象として、葉や木に触れその形や特徴などから樹木の名前を覚えてもらうとともに、覚えた樹木の枝を使った木工作をすることにより、木に慣れ親しんでもらうことを目的としています。

### 【実績】

子ども樹木博士

H17年：様似町アポイ樹木園 参加者39名(協力：教育委員会2名、ロータリークラブ8名)

H18年：様似町アポイ樹木園 参加者40名(協力：教育委員会2名、ロータリークラブ8名)

### 【取り組み始めたきっかけ・活動を始めるまでの足跡】

ほとんどの子どもたちにとって、森を育てるためにさまざまな仕事が行われていることや森には目に見えない大切な働きがあることなど十分に理解されているとは言えません。子どもたちが森林に関心を抱くようにするためには、まず1本からでも木の名前やその特徴などを知り、木に親しみを持ってもらうことがきっかけになるのではないかと考え取り組みを始めました。

(私たちもまず相手の名前を知ってから・・・ですよね。)

また、当センターには、従来から森林環境学習の場などにも利用されている「アポイ樹木園」という約100種類の樹木が見学鑑賞できる最適なフィールドがあることも一つのきっかけとなりました。(駐車場、水洗トイレ、展望台、東屋、池、バリアフリーの遊歩道などが整備されています。)

内容の検討に当たっては、(社)全国レクリエーション協会が実施している「子ども樹木博士」のネット情報や新冠町の若園小学校が実施している「樹木博士認定テスト」の内容などを参考にさせていただきました。

### 【活動・取組の特徴】

「子ども樹木博士」の認定基準は1種類から45種類以上まで樹木の正解数により10級から名人まで段位を区分しています。今回のように学習時間が1時間30分程度と短く参加者も小学生である場合には、イチヨウやヤマモミジなど特徴のある樹種13種類(初段)を選定しました。採点に時間を要することもあり、午後からは2時間程度の時間を使って小枝などを使った工作を行っています。電動ドリルを使う所などはロータリークラブの皆さんに協力をお願いしていますが、子どもと一緒に夢中になっている場面も見受けられ、大人と子どものミニ・コラボとなっています。子どもたちがじゃれ合いながらも作る作品には個性豊かなものも多く、子どもの柔軟な発想に感心させられます。

また、「樹木博士認定テスト」というと、子どもたちには「学校のテスト」のイメージがあり、あまりいい感じがしないかもしれませんが、本来の目的は、木に慣れ親しんでもらうためのものであることから、テストにはカフェテリア方式などを取り入れ気軽に楽しみながら参加できるよう心がけています。認定証授与の際には、ロータリークラブの提供により景品も配っていますが、みんなうれしそうに受け取っています。こういう活動に地域のロータリークラブの皆さんが参加協力し、子どもと一緒に木の名前を覚え段位に一喜一憂するなど、とてもフレンドリーな場にもなっています。

## 具体的内容

期待できる効果 (自己評価)	五感や創造性を高める		森や木に関する知識をつける・高める	
	協調性や社会性を育む		森や木を通じた地域の活性化を図る	
	運動能力の発達を促す		木の文化や技術を伝える・つくる	
	生命と自分とのつながりに気づく		つくり手・買い手・使い手をつなぐ	
	その他( )		その他( )	
取組主体	企画者または主催者名	北海道日高森づくりセンター		
	参加者(参集範囲)	乳幼児 / 未就学児童 / <u>小・中学生</u> 大人(高校生以上) / 高齢者 / その他( )		
参加者の募集	あ る / <u>な し</u>			
HPアドレス・連絡先(担当者)	北海道日高森づくりセンター管理課 TEL: 0146-22-2451 FAX: 0146-22-6144 E-mail: hidakamori.11@pref.hokkaido.lg.jp URL: http://www.hidaka.pref.hokkaido.lg.jp/ds/mdc/			



# 子ども樹木博士



樹木博士認定証



樹木の説明



樹木博士認定試験中



木作品完成（クマ）



木作品完成（イヌ・時計）



樹木博士認定式

## 森林教室～学校の樹木を知ろう～

具体的内容	<p><b>【概要】</b>            学校敷地にある樹木をより身近に感じてもらうために、小学校を対象に森林教室を実施し、樹木とのふれあいを通じて五感や創造性を高める活動を実施しています。            ＊樹木の特徴を知る            ＊樹を測る（胸高直径・樹高）～輪尺と測高器を利用して            ＊樹木や森林の大切さを学ぶ</p> <p><b>【協力機関】</b>            ＊北海道森林管理局 釧路湿原森林環境保全ふれあいセンター            ＊釧路支庁 釧路森づくりセンター</p> <p><b>【実績】</b>            H18：釧路管内小学校3校（児童数68名）</p> <p><b>【取り組み始めたきっかけ・活動を始めるまでの足跡】</b>            学校敷地内の樹木を知らない児童が多いことから、樹木の特徴と樹木を測定する道具を知り使用することにより、樹木を身近な存在としてもらうために釧路支庁に隣接する小学校と緑の少年団で活動している2団体（2校）が実施しました。</p> <p><b>【活動・取組の特徴】</b>            地域で森林教育を実施している機関と協力連携して、児童が自主的に班編制を組んだり、実施当日の司会や進行を担当するなど、先生があまりかかわらないような形で実施しました。            また、地域の森林環境教育を推進する機関との協力と連携により実施したことにより、今後の森林環境教育に向けての基盤づくりが出来ました。</p>		
	期待できる効果 (自己評価)	五感や創造性を高める 協調性や社会性を育む 運動能力の発達を促す 生命と自分とのつながりに気づく その他( )	森や木に関する知識をつける・高める 森や木を通じた地域の活性化を図る 木の文化や技術を伝える・つくる つくり手・買い手・使い手をつなぐ その他( )
取組主体	企画者または主催者名	北海道釧路支庁産業振興部林務課主査(みどり)	
	参加者(参集範囲)	乳幼児 / 未就学児童 / <input type="checkbox"/> 小・中学生 大人(高校生以上) / 高齢者 / その他( )	
参加者の募集	あ る / <input type="checkbox"/> な し		
HPアドレス・連絡先(担当者)	釧路支庁産業振興部林務課主査(みどり) TEL: 0154-43-9208 FAX: 0154-41-2061		

森林教室～学校の樹木を知ろう～

